



## 北海道の次なるステージに向けて

### 北海道価値の向上

北海道知事 高橋 はるみ

北海道ふるさと会連合会の皆さんにおかれましては、平素より道政の推進にあたり、格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年3月の未曾有の東日本大震災については、道としても、道内被災地の復興、道外被災地への救援活動や被災された方々の本道への受け入れなどの支援に全力で取り組んで参りました。

この間、海外からの観光客の減少をはじめ、国民の暮らしや経済に様々な影響が出ており、我が国の復興に向けた北海道の貢献も求められているところです。

このような状況の中で、道としても時代の潮流を冷静に見極め、北海道が誇る優位性や特性を十分に活かし、被災地復興や我が国の危機克服に積極的に貢献していくことで、必ずや北海道にとって、輝かしい未来につながる次なるステージが開かれていくものと確信しています。

北海道には、豊かな自然環境や安全・安心でおいしい食、魅力あふれる観光資源、多彩な自然エネルギーなど、世界に誇れる素晴らしい「北海道価値」がたくさんあります。道では、震災復興と並行して、この「北海道価値」を磨き上げ、地域に徹底してこだわり、食や環境など北海道が持つ優位性や特性を最大限に発揮できるような戦略を積極的に展開し、夢と希望に満ちた北海道づくりに取り組んでいます。

今年も9月30日から10月2日にかけて東京都代々木公園で開催された、北海道ふるさと会連合会主催の「第17回北海道産直フェア」では、皆様のふるさと市町村の自慢の特産品が販売され、多くの方々による魅力を伝えていただきました。こうした取り組みの積み重ねが、まさに「北海道価値」の更なる向上に資するものと考えています。皆様からは、これまでも北海道の魅力発信に大変なお力添えいただいておりますこと北海道知事として心から感謝申し上げますとともに、今後とも「北海道価値」の向上を応援するサポーターとしてご支援いただければ幸いです。

終わりに、北海道ふるさと会連合会の益々のご発展と、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。私からのメッセージとさせていただきます。

## ふるさと会連合会・定期総会開催

第34回ふるさと会連合会定期総会は、4月23日(土) 雨天の中、千代田区一ツ橋の日本教育会館内喜山倶楽部の大会議室で56団体のふるさと会、98名が参加し開催されました。

定期総会の主な議案は、平成22年度の事業報告(実施事業の内容、決算報告、監査報告)と平成23年度の事業計画および執行役員改選が行われました。

1. 事業報告では事業部会、産直部会、総務部会、広報部会、事務局における実施事業内容が報告され、結果244万円の次期繰越金の計上が報告されました。

2. 事業計画においては、来春の北海道東京事務所移転計画に伴い、当事務局の移転計画が予定されること。東日本大震災に伴う被災地への義援金贈呈の件。

東日本大震災により、サップロビル千葉工場見学の計画中止の件。産直部会は9月30日から10月2日、代々木公園にて北海道フェア計画予定。

3. 役員改選においては次のとおり選出され、就任いたしました。

会 長	伊野 達哉	(東京ふる里岩内会)
副 会 長	渡辺 拓	(東京札幌会)
〃	杉村 豊	(東京深川会)
〃	森 隆信	(東京遠別会)
〃	高橋 守	(東京新冠会)
〃	堀口 正顕	(東京妹背牛会)
〃	池田 俊一	(東京浦河会)
監 事	田中井清司	(東京大樹会)

4. 新規加入団体ふるさと会および新規加入協賛企業の報告がありました。登別げんき会、十勝浦幌会、斜里会、弟子屈ふるさと会、沼田会、ひがしかわ会が加入、新規協賛企業として北海道新聞社、北洋銀行、北海道銀行が加入されました。

定期総会後は同会館内にて恒例の懇親会が行われ、新規加入のふるさと会代表および新規協賛企業北海道新聞社東京支社長、北洋銀行東京事務所長、北海道銀行東京支店長から挨拶が行われ、参加者の皆さんが懇親を深めておりました。



総務部会 高橋 郁夫